**▶情報の信頼性・信憑性**

年　　　月　　日

**年生保護者の方へ**

（学校名を入れる）

　今の子どもたちは、いつでもインターネットに接続できる端末を携帯しています。そのため、情報の収集や発信が容易になりました。しかし、たくさんの情報から必要な情報を見きわめることは難しくなっています。

　学校では、「情報の信頼性・信憑性」という授業を行いました。インターネット上の情報のみきわめかたについて、ご家庭でも話し合っていただきますようお願いいたします。

**１．災害時等の情報のみきわめかた。**

　災害時には、たくさんの情報がインターネット上に溢れます。被害状況、支援を要請する情報、などです。中には拡散希望と書かれた緊急を要するような情報もあります。しかし、インターネット上の情報は真偽が定かではないものも多く、嘘やデマも投稿されます。「情報の拡散」は必ずしも救助に向けた「行動や確認」につながらないことを話し合っておきましょう。

　インターネット上の情報は、「情報源が明確か」「日時や場所は明確か」「責任の所在は明確か」「新聞やテレビなど他のメディアでも調べられるか」を目安に確かめましょう。日頃から官公庁や行政機関の情報を受信、購読していると、信頼できる情報が受け取りやすくなります。

**２．正しい情報であっても。**

　正しい情報をみきわめることは大事ですが、正しい情報であっても、インターネットへの投稿には慎重になりましょう。学校行事の写真、部活動の写真などは、良い写真であったとしても、勝手に投稿しないで学校の許可を得るようにしましょう。不特定多数が写り込んだ写真の場合、公開を望まない人もいることを考え、必ず当人に投稿の可否を確認しましょう。一度でもインターネットに投稿した写真、情報は、削除が難しくなります。特に顔写真は悪用される可能性もあります。万が一、無断で写真等を投稿された場合は、すぐに学校へ相談してください。